

2023年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学類等	科目名	担当教員	単位数	教員の实務経験の有無
基盤教育	健康運動科学実習	黒澤 尚(非)	1	指導現場による実技経験を活かし、日本サッカー協会のコーチング法をベースに授業を展開する。
基盤教育	精神疾患とその治療	片山 規央	2	本科目の担当教員は、精神科専門医・指導医として児童・思春期・成人・老年期に至るまでの幅広い精神疾患の診療に長年数多くあたってきた。講義では教科書的な知識のみならず、臨床場面の経験談も交えて、疾患や治療について、より理解が深まるよう努めている。
基盤教育	食品の機能	熊谷 武久	2	前職の食品会社研究・管理職としての経験を活かし、基礎と応用を意識した講義をします。
基盤教育	知的財産の基礎知識	横島 善子	2	特許庁で特許審査官として特許審査の実務を担当したほか、弁理士として他大学で特許関連実務を担当後、本学で現在、知的財産全般に関する実務を担当している。また、民間企業で研究職として技術開発（及び自己が成した発明の特許取得等）に携わった実務経験もあり、これらの実務経験を生かして、事例に基づいてわかりやすい特許・著作権等知的財産全般の授業を行う。
基盤教育	データサイエンス実践演習	村重 慎一郎(非)	2	過去20年以上の経営コンサルティング（事業戦略立案・企業変革）の経験、および10年以上のデータサイエンス・DXプロジェクトの経験を有する実務家教員が、知見を活かして授業を展開します。
基盤教育	中国語基礎	金 敬雄	1	日中両言語の通訳、翻訳の経験がある。中国語の読解、中日対訳、コミュニケーション要領などに生かしていきたい。
基盤教育	むらの大学	前川 直哉	2	担当教員はNPO活動等を通じ、地域課題解決の取組みや自治体・企業・学校等との協働を行ってきた。本授業ではその経験を活かし、学生を指導する。
基盤教育	人・食・環境・生物の共生関係	原田 茂樹	2	国立環境研究所および中山間地研究センターでの実務経験がある。
人間発達文化学類	家庭科学習指導論	石垣 和恵(非)	2	高等学校家庭科教員の実務経験があり、その経験を踏まえて中学校、高等学校での家庭科学習につながる小学校家庭科の学習指導について講義する。
人間発達文化学類	子どもの生活と遊び	宗形 潤子	2	実務経験：小学校教員18年（低学年担任6年）指導主事2年を生かし、学校現場の実態や現状について伝え、より実践的な学びとなるよう支援する。
人間発達文化学類	子どもの造形活動	渡部 憲生	2	小学校教員としての実務経験を生かし、学校現場の現状や児童の実態等を踏まえた指導方法の工夫改善の視点、授業で扱う材料・用具の扱い方の要諦等について具体的に指導する。
人間発達文化学類	社会科学習指導論	渡邊 健順	2	中学校や教員研修機関での実務経験、小学校での研修指導の経験を活かし、指導技術や教材開発について具体的に指導する。
人間発達文化学類	理科の実験指導	村上 正義	2	前職の小学校・中学校教員、特に理科指導の実務経験を活かし、教材研究の視点と児童生徒への指導の視点を合わせて「理科の実験指導」を担当
人間発達文化学類	教職概論	高野 孝男	2	担当は、小学校、教育行政の経験があることから、「学校・授業・子ども・教師」のキーワードを切り口として、より実践的指導力の向上に努める。
行政政策学類	地理歴史科教育法	守谷 早苗(非)	2	県立高等学校教員歴23年。県立博物館学芸員5年。県教育委員会文化課文化財保護係6年。県教育委員会主任管理主事3年。
行政政策学類	社会福祉論（行政）	松本 喜一(非)	2	精神科病院や介護保険施設でのソーシャルワーク、障がい者や高齢者虐待対応、成年後見制度、法テラス活動などを授業で報告します。また「福島県社会福祉士会」の活動内容についても報告します。
行政政策学類	社会福祉課題研究	鈴木 典夫	2	福祉職の実務経験有。経験をフィールドワーク、実技演習、実習、グループワークに活かします。
経済経営学類	入門マクロ経済学	石川 大輔	2	国際通貨基金（IMF）と財務省での実務経験に基づいて、授業ではマクロ経済学が現実の経済政策と密接につながっていることを伝えていきたいと考えています。
経済経営学類	地域と経済	吉田 樹	2	国や地方公共団体の交通、観光分野の各種委員会委員への参画、公共交通事業者や観光、商工関連団体とのプロジェクトにも数多く取り組んできた経験を本講義で紹介する具体事例に活用する。
経済経営学類	調査法（質問紙）	野際 大介	2	実務経験あり（一般企業において、ビジネス関連の実務を経験し、シンクタンクにおいては小売業や食品メーカーと質問紙調査や店頭実験、マーケティングデータ分析の研究に従事した。本講義でもこれらの実務的知見を踏まえた講義としている）
経済経営学類	原価計算	下山 誠	2	大手監査法人での公認会計士監査業務、会計基準等の研修業務の経験、日本公認会計士協会実務補修所講師など
共生システム理工学類	生産管理概論	寛 宗徳	2	製造業等の技術指導、人材教育を行っており、授業に一部取り入れている。
共生システム理工学類	経営情報システム	重 彦文	2	多数の企業において情報システムの開発に携わってきたので、実用上の有用性も重視し、授業を進める。
共生システム理工学類	化学工学	佐藤 理夫	2	企業の研究開発部門および経営部門に従事した経験を活かし、講義を組み立てます。
共生システム理工学類	地下水益管理学	柴崎 直明	2	福島大学赴任前に民間コンサルタント会社で経験した地下水業務（国内、海外）の経験を活かし、実際の地下水調査や地下水益管理の方法を授業で紹介する。
食農学類	発酵・醸造学	渡部 潤	2	醤油醸造に関する実務経験有
食農学類	森林利用学	藤野 正也	2	民間企業において全国の森林組合、林業会社等約20社への経営コンサルティングを行う。森林利用、林業経営、森林生態などの森林管理手法や、林業業務に関する実務者向け研修会の企画・運営・講師を10年以上担当する。労働安全性を高める林業作業システムの開発に携わる。県職員として自然公園管理の研究業務を担当する。
食農学類	協同組学	小山 良太	2	株式会社マルシェF代表取締役社長を兼務し、福島県産農産物の6次産業化促進と新規市場開拓、マーケティングを実施。
食農学類	農業生産学概論	篠田 徹郎	2	農水省野菜試験場、農研機構生物機能利用研究部門等において、野菜害虫等の生理・生態・防除に関して長年の研究経験があります。
食農学類	フードコーディネート論	旗野 梨恵子(非)	2	栄養教諭としての勤務経験があり、その食育授業や講演の経験も踏まえた講義を行う。